

たんぽぽ



vol. 70

平成22年4月発行

発行者 放送大学

富山学習センター

責任者 所長 渡邊 裕司

視野は広く、専門は深く、そして

富山学習センター所長 渡邊 裕司



2010 年度第一学期に放送大学へ入学された皆様、入学おめでとうございます。私ども富山学習センターの教職員一同は皆様に心から歓迎致します。放送大学で学ばれる機会を大切にしたいと思っております。また、在学生の皆様には、新年度を迎えて心機一転、学習センターを大いに利用して学んで下さい。

勉学の機会は自ら作り出すものだと思います。今から約 500 年前、放送大学のような何時でも何処でも学べるシステムがなく、群雄が割拠していた室町時代後期に、曲直瀬道三という人がいました。彼は 22 歳の時に遊学の志を立てて京都から関東へ下り、当時、関東では最高学府であった下野（現在の栃木県）の足利学校に入学しました。そこで、四書五経をはじめ中国の諸子の学を修めました。ちょうどその頃、中国に 12 年間留学し、明の李朱医学を学んで帰国した田代三喜が下野の古河を拠点に医療活動を行っていました。それを知った道三は意を決して三喜に師事し、「黄帝内系・素問」をはじめとして諸論を学ぶと共に、13 年の間に 120 種の用薬の効能を伝授されたということです。三喜の死後、京都へ戻った道三は、鍼灸や薬を使って時の将軍・足利義輝や毛利元就など多くの武将の病を治しました。

この物語の中で最も注目したいのは次の二つです。まず、道三は多くの著書を残しました。中でも「啓迪（けいてき）集」という本は、古今の中国医書を参考に、自らの臨床経験と考へに基づいて病気の治療法を纏めたものです。全 74 診療門の中で老人門が独立しており、既に現在と変わらない治療原則が確立されていたことが窺えます。次に、道三は啓迪院という学舎を創って門人を教育しました。その数は 800 名に達したということです。課程の修了時には診療の秘訣を自ら切紙にして門人に授与しましたので、彼らは感激して益々診療に励んだといわれています。それは後に門人によって 57 カ条の医則に纏められ、残されています。内容の詳細は省略しますが、基本的な考えは現代にも十分通用するものです。

放送大学へ新たに入学される皆様には、学ぶことによって視野を広げるとともに、専門知識を深めていただきたいと思います。自分自身を磨くと同時に、将来を見通す力をつける絶好の機会です。数年後には、是非、切紙に相当するものを放送大学長から受けていただくよう願っています。



客員教員退任のご挨拶

お礼の言葉

客員教員 荻 原 洋

前任の加瀬先生から引き継いであっという間に5年経ってしまいました。当時客員の先生方は大先輩ばかりでしたから、非常に緊張して会議等に参加していたことを覚えています。しかし、センター長やスタッフのみなさん、大先輩の諸先生方に優しく接していただき、なんとかバトンを渡すことができそうです。

センターでは、面接授業、オープンセミナー、サークル活動、学習相談などをさせていただきました。十分お役に立てたとは言い難いのですが、皆さんがとても熱心に参加して下さったので、私にとっても非常に素晴らしい学びの機会でした。そのことに心から感謝申し上げます。

特に、本当に多くの時間を一緒に過ごさせていただいた英語学習サークル「寺子屋」のみなさま、ありがとうございました。ここでの出会いは私の教員生活の中でも永く記憶に残る楽しく幸せなものであったと思います。一足お先に寺子屋を「卒業」させていただきますが、いつか偶然再会して「あの時はね～」と笑ってお話しできることを楽しみに、一旦お別れいたします。

最後になりましたが、富山学習センターとそこに集われる全ての皆さまの益々のご発展をお祈りし、お礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

退任の挨拶

客員教員 奥 田 実

記憶が確かであれば、最初に客員教授になったのは平成10年9月、野村所長さんの時でした。その後中川先生、小谷先生そして現在の渡邊所長さんまで四人の方々のもと、11年と6ヶ月どうかその任を果たすことができたと思っています。所長さんは、どなたもすばらしい人格者です。このような方々を誰が見つけてこられたのかと感心していました。また客員教授の先生方、さらに室長さんをはじめ、事務局の人たちもいい人揃いで、とても暖かい雰囲気の良い学習センターでした。

11年間の思い出は多々ありますが、一つは小布施や上市に学生さんと一緒にバス旅行したことです。和気藹々と家族的雰囲気の中で交流し、密度の濃い経験ができました。

さらになんと言っても、二人の学生の卒業研究指導を行ったことです。二人とも熱心で優秀な方で、とても指導しがいがありました。また無事合格、今後の活躍を期待しています。

放送大学の卒業式に出て、いつも感動するのは卒業生の話です。皆さん、さまざまなバリアを乗り越えた人たちです。その達成の根底には学ぶ楽しさがあります。

放送大学富山学習センターが、素晴らしい熱心なスタッフと学生さんによって、今後もさらに発展することを、また同窓会が拡大充実することを願っています。

「人間は身体でもある」ということ

客員教員 盛 永 審 一 郎

もう9年になるだろうか。中川所長、小谷所長、そして現在の渡邊所長のもとで、その間、富山学習センターに特段に寄与することもなく、いたずらに時を過ごしたことを今となっては反省している。

最初の面接授業の途中で、ちょうどデカルトの『我思う、我あり』（人間とは、身体ではなくて、精神であるということ）を説明していた。一人の60代の紳士が急に手を挙げ、『我疲れた、我休みたい』といったのは何とも絶妙で、しかも的確に我の存在（私とは身体でもあるということ）を言い当てていて、おもしろかったのを覚えている。（当時は最初の日に2時間15分の講義を、3回行っていた。）こちら、その日の夜は、天井がぐるぐる回っていた。

授業の終わりにいつも言うことは、「もうこれで終わり」と思ってはならないということ。いつか皆さんと私は、再び巡り会うということ。しかも何から何まで同じままで。あくびをこらえているこの些細な意味のないようなこの瞬間まで狂いもなく。それを聞いて、反吐を催さないように、この瞬間をよしとして、何度も引き受けることができるように生きようではありませんか、と。それでは再び巡り会う日まで。

平成21年度第2学期卒業証書・学位記授与式 平成22年度第1学期入学者の集い

3月28日午後2時より「平成21年度第2学期卒業証書・学位記授与式」ならびに「平成22年度第1学期入学者の集い」を当センター講義室1にて開催しました。

集いには新入生47名を迎え、渡邊所長の挨拶、客員教員の紹介、センター利用の説明等を行いました。また、式に出席された卒業生・修了生の皆さんから、新入生に対して一言ずつアドバイスをいただきました。どの言葉も重みがあり、幾多の壁を乗り越えてこられた充実感のようなものが伝わってきました。

なお、当センター所属の卒業生・修了生の専攻内訳は以下のとおりです。皆様のご努力に敬意を表し、心からお喜び申し上げます。

※今回、酒井志津子さんが3専攻目、崎田峰彦さんが2専攻目をご卒業されました。お二人には、富山学習センター特別表彰の表彰状を贈らせていただきました。

◆教養学部卒業生

生活と福祉専攻	3名	生活と福祉コース	1名	発達と教育専攻	7名
社会と経済専攻	3名	産業と技術専攻	2名	人間の探究専攻	1名
自然の理解専攻	1名	心理と教育コース	2名		計20名

富山学習センター所属卒業生 累計339名

◆大学院修了生

総合文化（文化情報科学群）	2名	政策経営	1名
臨床心理	2名	教育開発	2名
			計7名

富山学習センター所属修了生 累計23名



ご卒業
おめでとうございます

～卒業生・修了生からの寄稿～

私にとっての放送大学大学院

大学院（臨床心理プログラム）修了生 八島 不二彦

私は心理カウンセラーになる為に8年前から放送大学教養学部（発達と教育）で、2年前から大学院で臨床心理学を学びました。この大学院で私はいろんな事を体験しました。特に面接授業では、その時の自分の中（無意識）から湧きあがってくるものを言葉やイメージにして発表したり、同期生の過去にした事例（カウンセリング）をみんなで聞いて、質問・討議したり、指導を受けたり、現場（病院等）実習に行き各人が得たものを話し合ったり、などなど放送授業では出来ない貴重な訓練をさせていただきました。

この2年間は自分にとってどういう意味があったのか、大き過ぎて現時点ではまとめる事が出来ません。5年、10年時が経ってから分ってくるものなのかもしれません。それでも今、はっきりと分っているのは、放送大学大学院は私に自分であり続ける事の重要さと、そこから前に進む大切さを教えてくれた事です。心理カウンセラーとして自分は通用するのか、資質があるのか、不安と期待で揺れ動きながら2年間を過ごしていた私にとって、大変大きな支えでした。

この2年間支えて下さった先生方、同期生の皆さん、その機会を与えて下さった放送大学関係者の全ての方々に感謝いたします。

充実した日々

教養学部（発達と教育）卒業生 稲井 典子

二十歳より正職員で仕事していたのですが、事情によりパート職員となりました。自分を見つめなおす時間ができたので、忙しさを理由に棚上げして来た勉強をやりたいとすぐに考えました。そこで放送大学の卒業を目指すことにしました。私の条件にピッタリだったので。仕事や家庭と両立出来ること。面接授業を富山県内で受けることが出来ること。心理学と看護学を中心に学び、卒業を目指すことができること等。新しい教科書を手にし、これから始まる学生生活にワクワクした日が昨日のこのように思いだされます。

放送授業をビデオにとり、家で勉強していた日々。ビデオがとれなくて大学にビデオを見に行った日々。他の学生さんが勉強されている姿を見るとモチベーションが上がりました。面接授業では、学生間で交流を深めることができました。目上の方々の姿を見るたびに、自分の努力が小さく思えました。卒業研究にも挑戦し合格することができました。指導して下さいました先生には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。面接授業で講師となった先生方からは、学生への熱意を感じました。

目標の2年間で卒業することができホッとしています。支えてくれた家族に感謝です。

この2年間で得た知識を自分のものとし、実践できるよう努力します。

1学期面接授業の追加登録について

- ・ 面接授業の追加登録とは、科目登録決定後に空席のある授業について履修者を再募集し、登録できる制度です。
- ・ 登録いただけるのは、教養学部在学の全ての方です。(大学院在籍の方、一般の方も共修生として受講いただけます。)
- ・ 面接授業は全て1科目1単位です。



空席発表日

4月17日(土)より

※キャンパスネットワークホームページに「空席状況」と「追加登録受付期限」を掲載します。

追加登録期間

- ・ 科目ごとに追加登録受付期限を定め、登録機会を増やしました。
- ・ 原則として、開講日の1週間前まで受付を行います。

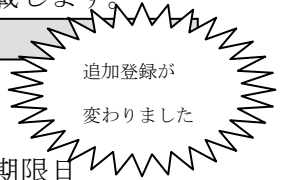
■ 4月～7月開講の授業 4月23日(金)～ 科目ごとに定められた追加登録受付期限日

■ 8月開講の授業 4月23日(金)～ 7月10日(土)まで

※ 追加登録期間前に開講する科目については、追加登録は行っておりません。

※ 追加登録受付期限日の前であっても、定員に達し次第、受付を締め切ります。

※ 授業準備の都合上、追加登録を受けられない科目、または1週間前まで受けられない科目があります。



追加登録申込方法

■ 学習センター窓口での申請 学生証 授業料持参

■ 郵送による申請 追加登録申請書 学生証のコピー 所定の授業料
返信用封筒(宛名明記・80円切手貼付)

平成22年度1学期 富山学習センター授業一覧

	専 攻	科 目	講 師 名	開 講 日
	(基)外 国 語	英語初級－英語に親しむ－	荻 原 洋	7/3・4
※	(共)人 文 系	江戸小咄から落語へ	二 村 文 人	4/24・25
※	(共)社 会 系	人類学から見る現代の虚構	竹 内 潔	4/17・18
	(共)自 然 系	バイオマス入門	立 田 真 文	8/7・8
	(専)生活と福祉	足と履物の生理学	臼 井 永 男	7/10・11
	(専)生活と福祉	高齢期の健康・福祉増進(2)	鏡 森 定 信	6/12・13
	(専)心理と教育	心理学実験3	海 老 原 直 邦	6/26・27
	(専)心理と教育	少年非行の社会学	住 田 正 樹	5/8・9
	(専)社会と産業	中国経済の行方	今 村 弘 子	5/29・30
	(専)人間と文化	芸術論－西洋美術入門	伊 東 多 佳 子	5/22・23
	(専)人間と文化	奄美・沖縄の歌と芸能	島 添 貴 美 子	5/15・16
	(専)自然と環境	異常気象と地球環境変動	川 村 隆 一	6/5・6
	(専)自然と環境	生物の多様性と保全	山 崎 裕 治	6/19・20

1時限 9:45～11:10 2時限 11:20～12:45 3時限 13:35～15:00 4時限 15:10～16:35

右端に※印がついている科目は、追加登録できません。詳しくは事務室までお問い合わせ下さい。

各地で製薬・売薬業が発達してきた中、富山のそれが特に有名になったのは、江戸時代に藩をあげて全国を行き来したことにある。多くの地域で庶民が自由に移動することが許されていなかった時代、富山では反魂丹を製造していたため、取締りはそれほど厳しくなかったのだ。

富山売薬の歴史的背景には、立山信仰の布教活動がある。修験者たちがお札や 経帷子を、関東をはじめ全国に売り歩いたという。そのお土産としてヨモギやキハダなど立山で採取された薬草を配ったのだ。時代を経て、岡山の万代常閑から反魂丹の製造法を伝授される。ついで、前田正甫のころに先用後利の手法が確立された。松井屋源右衛門など有力な売薬たちは薬（とともに種籾）を全国へ届けた。

こうして、富山売薬は全国の人々の健康維持に貢献したのである。また、富山には各地の先進的な情報や珍しい品が、売薬を通じて集まった。多くの遭難者・行方不明者もいたと聞くが、彼らが富山にもたらした影響は大きい。受け継がれてきた売薬文化の根本にあるのは、人助けの誠心だ。これはどんな職業にも当てはまると思う。働く目的は利益だけではない。もっと大切なのは、相手がより快適に暮らせるように援助することではないだろうか。富山売薬の歴史と彼らの生き様を知ること、職業人としての自分を見直すことができた。

授業では、薬そのものの歴史についても触れられていた。鍼灸の資格を持っていることもあり、東洋医学的な考えに基づいた漢方薬の話は興味深かった。漢方医の育った環境によって、考え方が違うというのも面白い。薬物療法も手技療法も、「未病を治す」という考えに従い、自然治癒力を高める働きがある。両者の併用による、人々の健康維持の可能性は無限に広がっている。しかしながら、東洋医学では治癒のメカニズムを科学的に説明することが難しいとされてきた。治療者の経験の力が大きかったからだ。最近では多くの研究が行われているので、いろいろなことが少しずつ解明されているようである。

最後に、私たちと一般医薬品を取り巻く環境について考えてみる。具体的にいつごろまでは不明だが、薬は高価で庶民にはなかなか手が出なかった。現在ではさまざまな薬が市場に出回り、その購入方法も多様化している。一面から見れば、それはとても望ましいことだ。だが一方では、知識の乏しい私たちが安易に購入できることが、乱用や間違った使い方をすることにもつながりかねない。専門的な知識を持つスタッフの配置、私たちにもいろいろな意味で負担の少ない医薬品の製造・販売。この両者の協力が不可欠だと思う。そう考えると、富山売薬が家々を回って薬を対面販売するというシステムは、理にかなっている。復活させれば需要は多いかもしれない。同時に、薬の長所と短所を理解し、正しく服用することが、健康意識が高まっている現代の消費者側にも求められていると思う。

平成22年度夏季集中について

学校図書館司書教諭講習・看護師資格取得に資する科目を開講します。

■募集要項配布

平成 22 年 4 月 1 日（木）～ 5 月 25 日（火）

■出願受付期間

平成 22 年 5 月 1 日（土）～ 5 月 31 日（月）必着

	学校図書館司書教諭講習	看護師資格取得に資する科目
出願・科目登録資格	・教育職員免許法に定める小学校、中学校、高等学校、若しくは特別支援学校の教諭の免許状をお持ちの方 ・大学に 2 年以上在学し、62 単位以上を修得している現在在学中の学生の方	入学する年度の初めにおいて満 15 歳以上の方（今回の場合、平成 7 年 4 月 1 日以前に生まれた方） ※（'09）以降の科目から卒業に必要な位として認められるようになりました。
放送授業期間 （再放送を含む）	平成 22 年 7 月 22 日（木）～ 8 月 8 日（日）	平成 22 年 7 月 22 日（木）～ 8 月 8 日（日）

事務室からのお知らせ

学生証の発行について

学生証は学習センターで発行、再発行いたします。

- 新規・継続入学された方、学生証の更新時期がきた方は、学習センターでお渡しいたします。その際、入学許可書、古い学生証をお持ちください。
- 写真の登録をされていない方は、写真票を大学本部学生課までお送りください。本部でシステム WAKABA に登録をした後、学習センターで写真入りの学生証を発行いたします。

各種証明書の交付願いについて

各種証明書の発行をご希望の方は、

- センター窓口 諸証明書交付願、手数料（1通につき200円）
- 郵送の場合 諸証明書交付願、手数料（現金書留または郵便小為替）、連絡のとれる電話番号、返信用封筒（長型3号に80円切手添付、宛名明記）を同封してセンターまでお送りください。

※教員免許状申請用、司法試験一次免除証明書は発行に時間を要します。

※諸証明書交付願は「学生生活の葉」の巻末綴込み、またはキャンパスネットワークよりダウンロード

通信指導について

通信指導の問題は、印刷教材と一緒に発送されます。（新規開設科目については別に後日送付されます）。期限までに提出された答案は、担当教員が評価・指導を行い、1科目ごとに返送します。この通信指導に合格することによって、単位認定試験の受験資格が得られます。

- 送付時期 5月7日までに届かない場合は、大学本部（043-276-5111）に連絡してください。

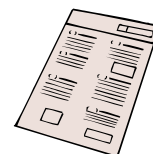
- 提出期間 平成22年5月24日（月）～平成22年6月8日（火）大学本部必着

※提出期限を過ぎて到着したものは受理できませんので、郵便事情を考慮し

たうで余裕をもって送付してください。

- 返送時期 平成22年7月中旬（7月16日までに届かない場合は、大学本部（043-276-5111）に連絡してください。）

※単位認定試験通知（受験票）は、添削結果より前に届くことがあります。



単位認定試験受験センター変更について

平成22年度第1学期単位認定試験を当センター以外で受験することを希望している方で、出願票提出の段階で申請していない方は、下記の期間内に「単位認定試験受験センター変更願」（「学生生活の葉」巻末）を提出するか、システム WAKABA で入力してください。

受験センター変更の許可については、6月下旬に「受験センター変更許可通知書」を送付します。

- 郵送の場合 受付期間 平成22年4月1日（木）～6月1日（火）大学本部必着

提出先 大学本部学生課単位認定試験グループ

- システム WAKABA 受付期間 平成22年4月1日（木）～6月15日（火）

本学大学院で取得した単位の取扱いについて

全科履修生が在学期間中に本学大学院の修士選科生・修士科目生として修得した単位については、申請により、全科履修生の卒業要件となる単位として認定されます。これを希望する第1学期（9月）卒業見込みの学生は下記の期間内に申請手続きが必要です。

- 申請期間 平成22年4月1日（木）～5月31日（月）大学本部必着

※認定する科目は所属するコースまたは専攻以外の専門科目となります。

※学部の卒業要件単位として申請し認定された単位は、大学院修士全科生として入学後、修了要件となる単位として使用することはできません。

なお、詳細は大学本部学生課卒業判定グループまでお問い合わせください。

住所等変更届の提出について

住所等に変更があった場合、大学からの重要な書類をお届けできなくなりますので、変更後速やかに冊子「学生生活の葉」綴込み様式を使用して各申請先へご提出ください。

※住所変更届はシステム WAKABA での届出もできます。

サークル・自主活動

基礎英語サークル
「The 寺子屋」

短歌サークル

数学学習会
週 1 回

現在活動中のサークル（自主活動を含む）は3つです。おもに当センター講義室1で行なっています。興味のある方は、直接ご参加ください。（日程は当センターへお問い合わせください。）



利用時間のお知らせ

平成22年4月から開所時間が下記の通りになります。

学生の皆様には大変ご迷惑、
ご不便をおかけしますが、ご
理解とご協力をお願い申し
上げます。

期間	曜日	開所時間
通常期間 (下記以外の開所日)	火～金	10:00 ～ 18:30
	土～日	9:30 ～ 18:00
単位認定試験 1週間前 ～単位認定試験前日 (7月16日～7月22日)	火～金	10:00 ～ 20:00
	土	9:30 ～ 19:30
	日	9:30 ～ 18:00
単位認定試験期間中 (7月23日から8月1日)	火～日	9:00 ～ 19:00

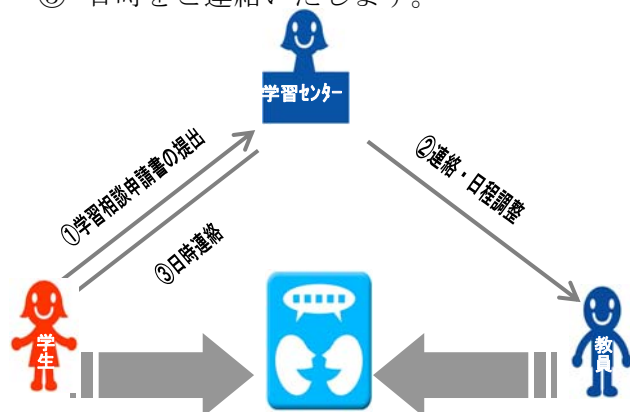
学習相談について

学習センターでは、所長・客員教員が皆さんの学習上のさまざまな相談に応じています。履修計画や論文の書き方などでお悩みの方、不安のある方など、どなたでもお気軽にご利用ください。

■学習相談の流れ

- ① 学習相談申請書を学習センター受付に提出してください。
- ② 所長・客員教員と連絡して日程調整を行います。
- ③ 日時をご連絡いたします。

■所長・客員教員紹介



渡邊 裕司 富山学習センター所長 専門分野 薬物学	
今村弘子 富山大学教授 専門分野 中国経済	海老原 直邦 富山大学教授 専門分野 認知心理学
九里 徳泰 富山県立大学教授 専門分野 環境経営学	田畑 真美 富山大学准教授 専門分野 日本倫理思想史
内藤 亮一 富山大学准教授 専門分野 イギリス文学	永山 くに子 富山大学教授 専門分野 母性看護学

教職員移動のお知らせ

4月1日付けで、職員の異動がありました。新職員を迎え心機一転頑張りますので、よろしくお願いいたします。

<新任> 客員教員 九里 徳泰
広報主任 村上 清順

客員教員 田畑 真美
図書主任 山峯 朋子

客員教員 内藤 亮一

<退任> 客員教員 奥田 実
教務主任 養 俊夫

客員教員 荻原 洋
総務主任 藤井 香

客員教員 盛永 審一郎
窓口担当 境 節子

図書室・視聴学習室からのお知らせ

放送テープ・図書の貸出停止について

下記の期間、放送テープ、及び図書室・視聴学習室内図書の貸出を停止します。ご協力をお願いします。なお、期間中の館内視聴・閲覧は可能ですのでご利用ください。

学生分類	放送テープ	図書室・視聴学習室内図書
教養学部	7/13(火)～8/3(火)	7/11(日)～8/3(火)
大学院	7/11(日)～8/3(火)	

貸出再開は8/4(水)～です。*8/4(水)～9/16(木)までの期間は1学期科目登録した以外の科目についても貸出します。2学期の予習や教養を深めるためにご利用ください。

蔵書検索(OPAC)について

- アクセス方法 放送大学ホームページ⇒[学習センター・図書館・附属施設](#) ⇒■付属図書館⇒OPACシステム簡易検索
- ご自宅のパソコンから、放送大学で所蔵している図書、放送教材などを検索することができます。
- 図書資料の利用申し込みの際はパスワードが必要です。貸出しご希望の方は学習センター受付へお申し出ください。

学生図書リクエストについて

本学に所蔵していない、学習に不可欠な図書資料の購入をリクエストする制度です。

- 利用できる人 学部全科履修生・選科履修生、大学院修士全科生・選科生
- 申込方法 学習センター受付にお申し出ください。
- 期間 5月～12月まで

※本部で審査の上、許可されれば購入となります。所蔵館は本部図書館となります。

相互利用サービスについて(他大学図書館等の利用)

必要な資料が本学図書館にない場合、他の大学図書館等を利用することができます。

- 直接利用
富山大学・県立大学・・・県内在住、勤務先が県内の方。住所確認ができる免許証等を持参すれば、利用することができます。5冊まで2週間借りることができます。
- 文献複写
資料を所蔵している図書館から複写物を取り寄せることができます。
※複写料金・送料は利用者負担となります。
- 図書の借用
国立国会図書館や他大学図書館から図書を取り寄せることができます。
※借用に伴う送料は利用者負担となります。

郵送貸出について

学習センターになかなか来られない方、放送を見逃した方のサポートとして、放送教材の郵送貸出を行っています。詳しくは別紙を御覧ください。

富山同窓会からのお知らせ

平成22年度第1学期『学習座談会』を開催します。

- ★対象者 放送大学富山学習センターに学籍のある方どなたでも参加できます。
- ★目的 学習相談(学習の進め方、中間レポート、卒業研究等)及び在籍学生の相互交流
- ★日時・平成22年5月16日(日)午前10時より 場所・第2講義室
豊富な学生経験者の立場で、同窓会修了生、卒業生がアドバイスいたします。
その他困ったことがあれば、お気軽に同窓会に御相談ください。

今後の日程

5 月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- 1～31 集中科目履修生受付期間
 8・9 面接授業『少年非行の社会学』
 15・16 面接授業『奄美・沖縄の歌と芸能』
 22・23 面接授業『芸術論 - 西洋美術入門』
 24 通信指導提出開始(～6/8)
 29・30 面接授業『中国経済の行方』

6 月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

- 1 第2学期出願受付開始(～8/31)
 5・6 面接授業『異常気象と地球環境変動』
 8 通信指導提出期限(大学本部必着)
 12・13 面接授業『高齢期の健康・福祉増進(2)』
 19・20 面接授業『生物の多様性と保全』
 26・27 面接授業『心理学実験3』
 中旬 平成22年度修士全本科生募集要項配布開始

7 月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

- 3・4 面接授業『英語初級－英語に親しむ－』
 10・11 面接授業『足と履物の生理学』
 中旬 通信指導結果返送
 23・24 大学院単位認定試験
 25～8/1 学部単位認定試験 ※7/30 は除く

…閉所日【毎月曜日、国民の祝日・休日、所長が特に必要と認めた日(7/30)】

分からないことなど、いつでもお気軽に事務室へご相談ください。

職員一同、お待ちしております。

放送大学富山学習センター

〒939-0311 富山県射水市黒河 5180 (富山県立大学内)

TEL 0766-56-9230 FAX 0766-56-9232